

新体育館整備運営事業の進捗状況について

1. 進捗状況について

新体育館整備運営事業については、当初スケジュールのとおり順調に進んでおり、現在、実施設計業務及び8月の建設工事着工に向けた準備工事を行っています。

(1) 実施設計業務

実施設計及び建築確認申請等の各種手続も含め7月下旬には完了し、8月上旬には建設工事に着工する予定です。

① 新体育館の概要等

(延床面積) 9, 149. 93㎡ [建築面積: 7, 728. 84㎡]

(構 造) 鉄骨造 地上3階建

(諸室概要)

室 名	面積 (㎡)	室 名	面積 (㎡)
メインアリーナ (※1)	2, 057. 36	ホワイエ	436. 74
〃 観客席	599. 10	廊下	347. 45
サブアリーナ (※2)	1, 280. 63	展望ラウンジ	81. 14
〃 観覧スペース	51. 99	器具庫	421. 70
多目的室 (※3)	281. 70	倉庫	18. 53
会議室 (※4)	218. 60	給湯室	6. 53
放送室	39. 80	事務室	59. 27
医務室	25. 81	清掃員控室	20. 04
授乳室	19. 45	機械室・電気室	724. 71
キッズコーナー	46. 40	トイレ (一般)	345. 96
ランニングコース	523. 23	〃 (多目的)	112. 76
更衣室・ロッカー・シャワー室	241. 80	防災備蓄倉庫	95. 27
休憩・物販コーナー	86. 23	選挙物品保管庫	100. 10
エントランスホール・ロビー	581. 04	駐輪場・キャノピー	247. 44
風除室	79. 15	(合 計)	9, 149. 93

※1 : 2分割及び3分割利用が可能

※2 : 2分割利用が可能

※3 : 3分割利用が可能

※4 : 4分割利用が可能

② 新体育館の平面計画

【資料1】のとおり

(2) 本體工事に向けた準備工事

新体育館建設工事の準備工事として、次のとおり現地にて作業を行っています。

【工事内容】 仮囲い設置、工事車両進入路整備、工事事務所設置、擁壁設置（中国電力鉄塔周辺） 等

【工事期間】 令和4年6月15日～7月31日

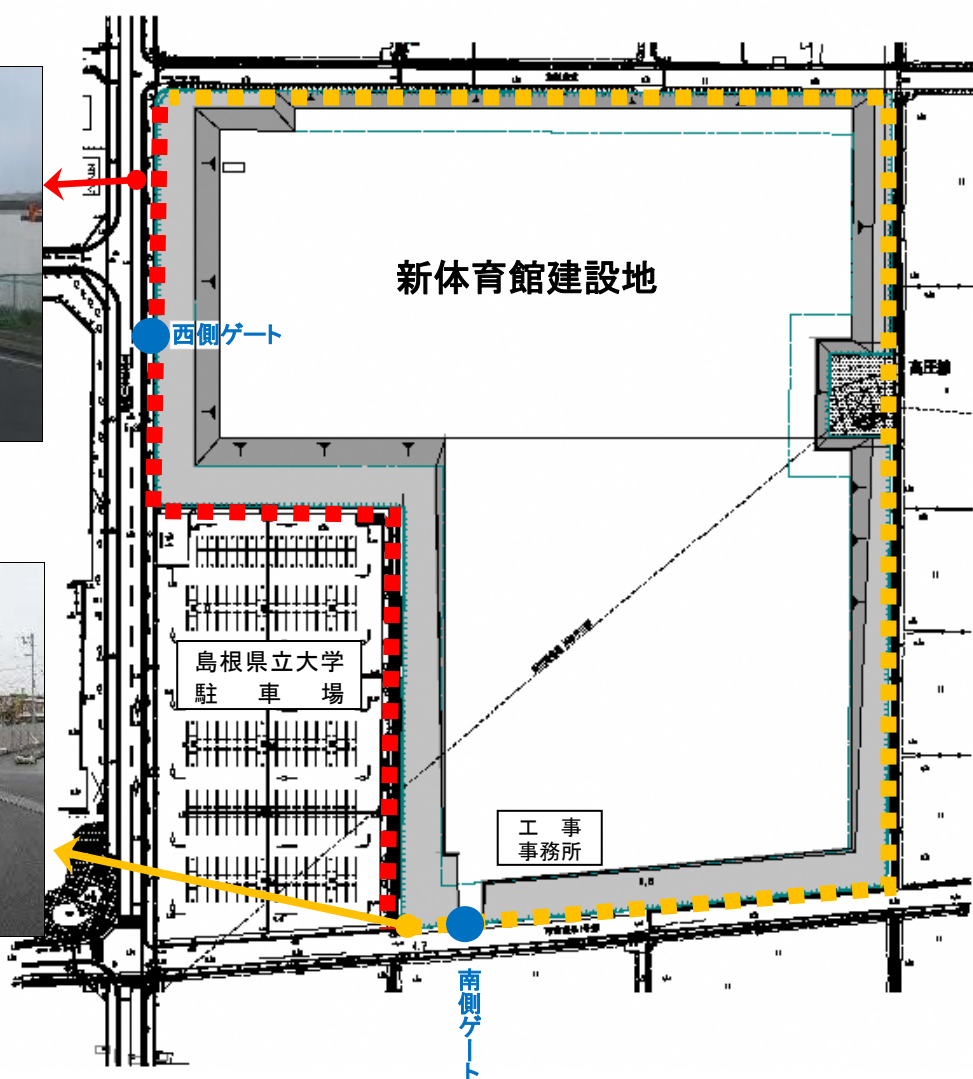
【概要】



(敷地西側面の仮囲いイメージ)
フラットパネル H=2.0m



(敷地西側以外の仮囲いイメージ)
シート張 H=1.8m



2. 起工式について

新体育館建設工事の着工にあたり、事業者主催により次のとおり起工式を予定しています。

【日時】 令和4年8月2日（火） 10:00～

【会場】 新体育館建設地

3. 事業スケジュールについて

(1) 事業者（出雲アリーナパートナーズ（株））が実施するもの

事業内容	令和4年度(2022)												令和5年度(2023)												R6
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
■実施設計	■																								
■建設工事																									
準備工事		■																							
杭・基礎・鉄骨等工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■													
屋根・外壁・内装等工事												■	■	■	■	■	■	■	■	■					
外構・屋外施設工事																	■	■	■	■	■				
電気・設備配管工事												■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
■開業準備																						■	■		
■開館（維持管理・運営）																								■	

※維持管理・運営期間：～令和21年3月31日（15年間）

(2) 市が実施するもの

- ・令和4年度 農業集落排水設計業務
- ・令和5年度 農業集落排水設置工事
排水路付替・道路側溝整備工事
設置管理条例の制定【議会議決】
指定管理者の指定【議会議決】

4. 物価変動等に伴う事業費の変更について

昨今の物価変動及び太陽光パネル増設に伴い、今後、次のとおり事業費の変更を予定しています。

(1) 物価変動に伴うもの

民間の新規建設工事が増加しているなかで、今般のウクライナ情勢等により建設物価指数が上昇していることから、今後、以下により事業費の変更を予定しています。

① 物価変動に伴う事業費の変更の考え方

- ・提案書提出日（令和3年2月15日）と基準日（請求のあった日）の建設物価指数により算出した建設費等の差が1.5%までは事業者負担とし、超える部分については事業費の増額変更を行う（1.5%は事業者負担）。
- ・この変更を行った後、12か月は再度の変更ができない。

② 建設物価指数の状況

(建物種類) 体育館 (構造) 鉄骨造

年 月	建設物価指数	建設費等
令和3年2月	(a) 120.4	(c) 4,538,030 千円
令和4年4月	(b) 131.4	(d) 4,950,991 千円
	(差 引)	412,961 千円

※計算式 : $(b) / (a) \times (c) = (d)$

↑ 増減率 (小数点以下第4位切捨て) : 109.1%

※差引 412,961 千円の内、約 68,000 千円 (= (c) × 1.5%) は事業者負担。

※建設物価指数の単位は「ポイント」。

※本年4月時点での指数による試算であり、実際には事業者から請求のあった月(基準日)時点での建設物価指数で計算を行います。

(2) 太陽光パネルの増設に伴うもの

事業者からの当初提案段階で省エネ基準及び創エネ対策を考慮し、環境に配慮した施設整備計画提案となっていました。市としてさらなる環境対策を講じる協議を進めていました。検討の結果、新体育館本体の構造に影響がない範囲での対策として、創エネ対策での太陽光パネル3基の増設(1基を4基に)が可能であることから、この増設にかかる経費について追加したいと考えています。

① 増設内容(見込)

太陽光パネル 30kW (10kW×3基)

※増設後、当初提案の10kW×1基と合わせ40kWを見込んでいます。

※10kWで事務室の照明とコンセントへの対応を想定している。

② 増設経費(概算)

約25,000千円

(3) 事業費の変更スケジュール(想定)

① 事業者から変更(改定)についての請求

※資材発注(設計業務完了後)のタイミングとなるため7月か8月頃を想定。

② 請求月の建設物価指数の確定(約2か月後)・変更額の確定(10月頃)

③ 債務負担行為の追加議決(12月議会)

④ 変更仮契約の締結(1月頃)

⑤ 変更契約の議決(3月議会)

